

# Weekly Bulletin 2013-2014



RI会長  
ロンD.バートン



ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

## 静岡東ロータリークラブ

会長/高柳正雄 幹事/高田雅司

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
高柳正雄



## 第 2654 回例会

平成 26 年 2 月 6 日 天候 曇

《司 会》 高田雅司 君

《合 唱》 「君が代」「奉仕の理想」

《BGM》 「The Sounds Of Silence」

《ご来賓》 曾根真人 様

《ピジター》 なし

### 《本日のお祝い》

#### お誕生日

2月 1日 伊藤洋一郎 君  
2月 9日 新開清史 君  
2月 12日 山下勝男 君  
2月 15日 宮川 汜 君

#### 結婚記念日

2月 10日 佐野哲一 君

### 《会長挨拶要旨》



人生の中で一度でいいから経験してみたいことの一つに流氷があります。流氷といっても、見る流氷ではなく聞く流氷です。司馬遼太郎が「街道を行く」か「この国のかたち」で紹介していますが、流氷が接岸するまさにそのとき悪魔の咆哮としか形容しようのない、この世のものとも思えない音がするのだそうです。私は、その音を聞きたいと思っています。

私は 40 才のとき、一人でその流氷を見に行こうとしました。若い頃からの一人旅はまだこの頃も続いていて、普段は宿は現地で適当に調達するのですが、酷寒の北海道となるとそうもいかず、事前に予約することにしました。ところが 40 男の一人旅となると、どこも受け付けてくれない。仕方なく親しい友人たちに声をかけましたが、こちらも何かと理由をつけて応じてくれない。困り果てたあげく思いついたのが、家内を誘うことでした。家内も最初は文句を言っていました

何とか実現にこぎつけることができました。しかしタイミングを微妙にずらしたのか、行ってみると流氷はすでに姿かたちなく、悪魔の咆哮ならぬ家内の咆哮を聞く羽目になりました。

それでも悪いことばかりではありません。流氷も人と同じで流れに乗れないヤツがいて、本体が北に帰ってしまったあとも周辺をウロウロしている集団がいる。これを「ハグレ氷」と言うそうで、砕氷船「ガリンコ号」も「オーロラ号」も、この「ハグレ氷」を追ってひたすら走ってくれました。特に「オーロラ号」は、流氷がないお詫びにと、記念のテレフォンカードまでくれました。

ちなみに、沿岸から流氷を確認できたシーズン最初の日を「流氷初日」接岸した初日を「流氷接岸初日」といいます。日本での流氷初日は 1 月中旬から下旬頃今年は 2 月 2 日でした。接岸初日は 1 月下旬から 2 月上旬頃です。そして春が近づき、海域に占める流氷の割合が 5 割以下になり、かつ船舶の航行が可能になると「海明け」が宣言され、沿岸から最後に流氷が見られた日を「流氷終日」といいます。オホーツクなど北海道周辺の海域は、北半球ではもっとも低緯度で流氷が見られる場所でもあります。

あのチャレンジからすでに 20 年以上経過しました。何とか今度は、家内の咆哮でなく、本物の悪魔の咆哮を聞いてみたい。いつか再度のチャレンジをするつもりです。

### 《国際奉仕フォーラム》

#### 国際奉仕グループ 望月康弘 君



今ロータリーは大きく変化しています。それで今日は地区財団委員会副委員長の曾根真人さんに、最新の状況についてお話を伺いたいと思います。今月は世界理解月間です。各クラブには、世界平和のための理解と親善の活動の実施が要請されています。マッチンググランドプロジェクトは



近年行っている共同プロジェクトの前にも、単独で参加してきました。最初は平成15年度、インドのサンクリ RC と共同で実施しました。インドの砂漠地帯にある村の2つの学校に、水飲みの設備をつくることと、集合住宅において、降った雨水を集めて井戸に戻す雨桶の設備を設置することです。完成まで3年かかりました。2つの学校の約1200人の生徒が、蛇口から水を飲むことができるようになりました。雨水を地下に戻す設備によって、1年のうち5ヶ月井戸が枯れて水を探さなければならなかったのが、水を探さなければならぬ時期が1ヶ月に短縮しとても感謝されました。2回目のプロジェクトは平成17年度に開始しました。スリランカの田舎の電気が無くて大変困っている村にコロボダウンタウン RC と共同で、太陽光発電と小さなLED照明で照らそうというプロジェクトでした。現地で手間取っている間にこの村に電気が引かれてしまい別の村の幼稚園の子ども達のためにトイレを設置しようということになりました。ところが悪条件が重なって、一時絶望的になり結局約4年半かかって2009年の12月ようやく27のトイレが完成しました。こんな事情で報告書の提出が遅れた結果、ガバナーや財団の曾根さんには大変心配をかけてしまいました。この年に地区で計画されていた、静岡南 RC の、スリランカのニカウエラティヤ RC と共同プロジェクトは続いています。今年度は地区と共同でグローバル補助金プロジェクトを計画しています。ニカウエラティヤ地区の10の学校とアヌダープラ地区の1つの学校に衛生的な水道と安全な飲水を供給しようというものです。予算は約1100万円です。皆様からの募金によって、参加できたらと思っています。目標金額は500ドルです。ご協力のほどよろしくお祈りします。

### 《来賓卓話》

#### 「国際的なロータリー活動とグローバル補助金」 国際ロータリー第2620地区ロータリー財団委員会 副委員長 曾根真人様



今回もロータリー財団のお話をさせていただきたく機会を頂き有り難く思っております。

今、国際的なロータリー活動は、日本がこれまで100年間受け継いできた流れと大きく変わってきています。それは奉仕に対する考え方です。日本は、『ロー

タリーは奉仕する者の集まりで、集まって奉仕するものではない』との考えでしたが、世界のロータリーは、財団に巨額な資金を集中させ、世界最大の奉仕団体になることを目指しています。

私たちもこの動きに関心ではられません。日本の良さを保ちながら、新しい流れに乗っていかねばなりません。日本のロータリーもようやく、『ロータリーの綱領』を本年度から『ロータリーの目的』と訳し、表現が分かりやすくなりました。その中の具体的な項目の第1の訳が；

『奉仕の機会として 知り合いを広めること』から

『知り合いを広めることによって 奉仕の機会とする』に変更されました。原文は変わりありません。ロータリーの目的は親睦から奉仕へ変わっていることを示したものと思われます。

私たちは、これまで地域社会への奉仕活動は、各クラブ単位で多く実施されていますが、国際的な活動にはあまり積極的に参加していませんでした。今回頂いた貴重な機会に、国際的にはどのような活動がされているのか、私の経験の範囲でお話させていただき、今後の活動のご参考になれば幸いです。

ロータリー財団の補助金には、地域社会で利用できる地区補助金と、国際的な活動に使うグローバル補助金とがあります。前者は、希望クラブが多く、プロジェクトの半額しか補助できませんが。グローバル補助金の場合は、クラブの負担がなくても利用することができます。

クラブで国際的なニーズを探し出し、相手国のクラブと協力してプロジェクトを実施すれば、その資金は地区やロータリー財団から支給されます。

昨年度は、このような資金を活用して、ブラジルスリランカ、タイの各国のロータリークラブと提携して奉仕活動を実施しました。

グローバル補助金は大変複雑な仕組みの下で活用しなければなりません。クラブ単位では難しいこともありますので、地区でご指導させていただきます。是非ご相談いただき、国際ロータリーの一員として立派な活動を展開されますことを願っております。

### 《スマイル報告》

望月 康弘 君 曾根真人さんの卓話と、皆様のグローバル補助金プロジェクトへの拠金に感謝してスマイルします。

富井 一矢 君 単なる月一スマイルです。  
寒いばかりで特に良い事はありません。皆様も月一スマイルよろしくお祈りいたします。

新開 清史 君 誕生日のお祝いありがとうございます。厄年も過ぎて、体重も増えてきましたので、今年はダイエットにもがんばろうと思います。

山下 勝央 君 本日お誕生日のお祝いを頂きありがとうございます。大事無く、一年を重ねることができましたことに感謝しスマイルさせていただきます。

宮川 沓 君 誕生日のお祝い、有難うございました。いよいよ超(?)大台。仕事もロータリーもそろそろ定年か、の感があります。

稲森 照男 君 誕生日祝いを有難うございました。もう余り迎えたくないのですが、こればかりは仕方ないですね。

### 《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
2/6	57(56)	45	11	-	-	-
1/30	57(55)	47	8	-	-	-
1/23	57(56)	51	5	3	2	94.65%